

日本共産党

次期総選挙で議席倍増へ

第3回利根沼田地区党会議開催される

28日、日本共産党利根沼田地区委員会は「第25回党大会第3回地区党会議」を開催し、次期総選挙で全国650万票に見合う地区内6,650票を突破し、北関東ブロック議席倍増の2議席獲得に責任を負う目標を含む「総合計画」を全会一致で決定しました。

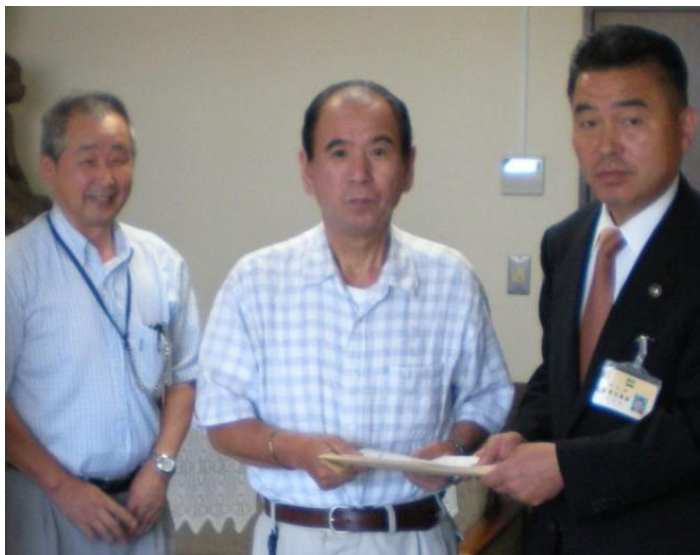
「総合計画」は、第1章で「内外情勢の焦点と地区党の政治任務」を定め、直面する熱い問題…即時原発ゼロ・オスプレイ配備撤回・TPP反対・改憲許すなど積極的な役割を果たすことや日本共産党の綱領を語り、日本の前途を語り合う大運動にすべての支部が取り組むことを呼びかけました。第2章で、総選挙躍進めざす1千万人対話と党勢拡大大運動に取り組むことを決め、第3章で、国政選挙で勝てる、強く、暖かい党の建設…「支部が主役」の党づくりをめざそうと決めました。

井之川博幸議員は、「放射能から子どもを守る沼田の会」の運動について報告しました。



井之川博幸市議

永井三郎（前沼田民商会長）さん逝く



沼田民主商工会前会長の永井三郎さんが、10月25日に亡くなりました。66歳でした。

永井さんは、民商会長として、地域の中小業者の営業と生活を守って頑張ってきました。左の写真は、「高い国保税の引き下げを求める陳情書」を星野沼田市長に提出したとき（2010年11月、中央永井さん、右市長、左千明現会長）のものです。

放射能から子どもたちを守る 署名運動にご協力下さい

昨年の東電福島第1原発の爆発によって、沼田市も放射能物質に汚染されました。放射性ヨウ素は半減期が8日なのでいまではほとんど検出されませんが、放射性セシウムはいまだにその多くが存在しています。この地域に生活している人々は、いまでも「被爆」しつづけています。特に「子どもたち」はその影響を強く受けています。

チェルノブイリでは、被爆2～5年後、子どもたちに甲状腺ガンが多発しました。沼田市の子どもたちをそのような病気から守るために検査が必要です。「放射性物質による健康影響検査費助成の実施を求める陳情書」の署名に、ぜひご協力下さい。

- *連絡先 ・放射能から子どもを守る沼田の会
- ・白沢の放射能を考える会

代表 沼田市白沢町高平70-15 tel 53-2104

第12回 桜町文化祭が開催される

10月27、28日、恒例の桜町文化祭が区民館で開催されました。会場には町民の力作が数多く展示され、玄関前のテントでは、「菊花展」が行なわれていました。



菊花展



2012年11月4日 No.632

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料